

## □令和7年度スローガン

笑顔あふれる  
「み」みつけよう夢を  
「た」高めよう志へ／助け合おう友と  
「ち」知恵と  
「や」やる気と  
「ま」真心で

### 【ひとり言】

つい先日、  
「ALL長崎Tシャツ」を、  
購入しました。  
これは、J1への昇格争いが  
最終盤を迎えている  
Vファーレン長崎を、  
県が一体となって応援しようという、  
その象徴みたいなグッズであり、  
サポーターは勿論、  
県内各地の役場や企業などでも  
着用されていますよね。  
もちろん興味が無い方も  
多数いらっしゃることは  
理解した上ですが…、  
本拠地のピーススタジアムを中心に  
県内各地で人々が集まり、  
会場を青に染め  
一緒に大声を張り上げ  
我が長崎を応援する…。  
故郷である長崎に、  
みんなが、こんなにも  
一丸となれる対象ができたことに  
幸福感を抱く今日この頃です。

さて、今週11月24日(月)から  
本日28日(金)までの  
4泊5日の日程で、  
「御館山地区通学合宿」  
が行われています。  
この通学合宿は、  
御館山小学校校区健全育成会、  
地域の方々、  
鎮西大学の先生・学生さんなど、  
なんと！**148名**もの方々が  
ボランティアで参加し、  
子どもたちの  
豊かな体験活動のために  
協力してくださっています。  
御館山地区には  
1万人近くの方が  
いらっしゃいますので  
割合的には少ないのかも知れませんが、  
老若男女…、  
色々な立場の方が…、  
子どもたちのために協力し、  
子どもたちに熱い眼差しを  
送ってくださっており、  
正に「ALL御館山」での  
サポートだと、  
感謝の気持ちでいっぱいです。  
子どもたちにも、  
このような状況は決して  
当たり前ではないことを知り、  
我が故郷…、  
我が町…、  
我が母校…を愛し、  
自分にできることに取り組める…。  
そんな子が  
一人でも多く育つよう  
学校に出来ることは何か？  
家庭に出来ることは何か？  
一緒に考えてまいりましょう。

## 5年生特集！次期リーダーに向かって！

前号の『6年生特集』に続き、今号は **5年生の大特集** です。

6年生同様、高学年として、様々な行事に取り組みながら成長しているのが5年生です。  
まずは、前号でもお伝えした『**小体連壮行会**』での活躍です。  
小体連壮行会は、小体連を1週間後に控えた10月21日(火)に開催されました。  
この会では、6年生の小体連での健闘を願って、全校で大きなエールを送るのですが、  
その中心となって全校児童を引っ張ったのが5年生でした。  
当日は、正に”腹の底から響いてくる”ような5年生の大声での掛け声が4年生以下を引っ張り、  
全校での迫力満点のエールが体育館一杯に響き渡りました。  
その中心となったのが自主的に立候補した応援リーダーの8人(各クラス2人ずつ)です。  
リーダーの皆さんに話を聞くと、この本番までには、

- |  |
|--|
| ①応援の構成や歌詞を考える ⇒ ②振り付けを考える ⇒ ③リーダーだけの練習<br>④動画にして全校に配付 ⇒ ⑤5年生全員との練習(3～4回) |
|--|

といった流れで、昼休みを中心に準備を進めたそうです。  
実は、他の学年とは、1回も合わせたことがなく、本番での一発勝負だったそうです！  
しかし、先にも書いたように、5年生の素晴らしいリードで、壮行会は大成功に終わりました。  
小体連で、素晴らしい結果を残した6年生から、  
「頑張れたのは5年生を初めとした全校の皆さんの応援のおかげ」  
と、感謝の言葉をもらった5年生。  
応援リーダーの一員である**津田アレックス優樹さん**は、  
「『6年生に少しでも元気を与えることで、6年生が頑張れたらいいな』と思って立候補しました。  
6年生が良い結果を出せたので、気持ちが届いてよかったです。」  
**坂本達海さん**は、「初めは、恥ずかしさもあったけど、それを乗り越えて全力でできてよかったです。」  
**山崎健さん**は、「自分自身が声を出さないと、みんなを引っ張れないことが分かりました。」と、  
それぞれに、手応えを口にしました。そして、3人は、  
「6年生は、みんなを引っ張らなければならない場面がもっとたくさんある。」  
「ここでの経験を生かして、みんなに尊敬される6年生になりたいです。」と、口を揃えました。

続いては、2学期で最も思い出深かったであろう「**宿泊学習**」が、  
11月6日(木)・7日(金)の2日間、国立青少年自然の家で実施されました。  
この宿泊学習の目標は、『**自主・自立**』。  
「**先生たちの手を借りず、できる限り自分たちの手で進めよう**」という気持ちで準備を進めました。  
宿泊学習の準備～本番の取組について、  
各クラスの代表児童に話を伺いましたので、それを構成する形でご紹介します。

|  |
|--|
| スタートは、宿泊学習に向けてのオリエンテーションでした。<br>このオリエンテーションでは、今回の目標である『自主・自立』について考えました。<br>色々な先生から話をしてもらい、「自分たちで動くとはどんなことだろう？」と考えました。<br>その後、本番終了までの活動単位となる生活班、活動班決めが行われました。<br>それぞれの班では、個々の目標をもとにした班目標を決め、<br>それを合わせる形でそれぞれの学級の目標も決めました。<br>目標決めも、先生方にはアドバイス程度にってもらい、出来るだけ自分たちで決めるようにしました。<br>葉作りでは、ファイルへ紙を差し込むなど、自分たちで出来ることに取り組みました。<br>そして、宿泊学習当日を迎えました。<br>オリエンティングは、かなり急な坂で転びそうなところもありましたが、<br>互いに支えたり、「大丈夫？」「水飲まなくていい？」などと声を助け合ったりしました。<br>ナイトワークでは、迷子になりそうでしたが、ここでも互いに声を掛け合いました。<br>野外炊事は、野菜や肉を切る係、薪を組み火を付ける係など、<br>役割分担をして焼きそばを作りました。<br>焦げた班もあったけど、とても美味しく出来上がりました。 |
|--|

このように、5年生の口から聞かれる言葉からは、  
「**自分たちの手でやり遂げたんだ**」という**充実感**が伝わってきました。  
最後に話を聞かせてくれた4人(**原田康希さん、永島瑞樹さん、原口茉夕さん、上村律輝さん**)は  
今回の感想と、今後への抱負を、次のように語りました。

|   |
|---|
| 「僕たちは今回頑張った『自主・自立』を、6年生でも生かしていきたいです。(原田康希さん)」<br>「 <b>宿泊学習中には、自分勝手な行動をせず、やるべき事がきちんとできた。</b><br><b>これを生かして低学年の見本になる6年生になりたい(永島瑞樹さん)」</b><br>「自分の役割を果たせるか心配だったけど、班の人たちがサポートしてくれて助かったし、<br>予想より上手くできてよかったです。これを生かして6年生に向けて頑張りたい。(原口茉夕さん)」<br>「 <b>自分たちで準備・計画をしてきました。協力することが大切だと実感しました。</b><br><b>これを生かして頼られる6年生になりたいです。(上村律輝さん)」</b> |
|---|

来年の御館山小学校を力強く引っ張るであろう、次期リーダー5年生の活躍が楽しみです。